

足羽川ライトアップ計画 概要

1 策定目的

「県都グランドデザイン」に基づき、まちなかを流れる足羽川の遊歩道や河川敷をライトアップするとともに、木田橋から九十九橋の5つの橋をあかりでつなぐ「光の川・ライトブリッジ構想」を進め、美しい夜間景観を演出する。

2 足羽川周辺における夜間景観の現状と課題

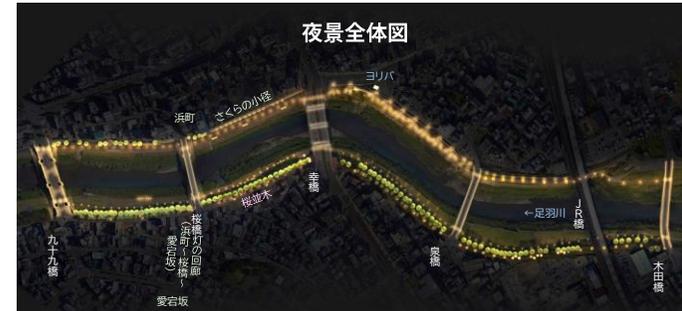
- ・橋梁 演出照明が少なく、一般的な道路照明がほとんど → まちなかの橋梁を魅力的な光のランドマークへ
 - ・河川 河川敷や堤防天端遊歩道に照明がほとんどない → 夜間も利用できる、歩く／眺める／佇む目的地となる足羽川へ
- (令和5年度に実施した社会実験では、ライトアップが良かったとの意見が9割を超え、今後の整備を期待する意見)

3 夜間景観形成に向けたコンセプトと基本方針

『五橋と桜並木が魅せる、福井ならではの水辺絶景 眺めて・使って心地よい夜の足羽川』

環境配慮 省エネ・SDGsの視点を踏まえ、

- ・惹きつける水辺の魅力と回遊性の創出 ⇒ 桜並木と水辺が楽しめる安らぎの光
- ・市民の日常を支える ⇒ 多様な河川敷アクティビティを支えるあかり
- ・安全・安心の強化 ⇒ 安全・安心なあかり



4 夜間景観形成に向けたエリア別基本計画

○各橋梁

- ・5橋それぞれの特徴を活かし、手すり間接照明により、歩行者の安全性・快適性を向上し、回遊する楽しさを付与
- ・人通りが多い幸橋・桜橋・九十九橋は、橋脚を照らすボリュームのあるライトアップ
- ・シンプルな構造の泉橋・木田橋は側面を照らして、美しい水平ラインを魅せる。
- ・浜町～桜橋～愛宕坂の動線を行灯等でつなぎ、回遊ルートを視覚化（灯の回廊の整備）
- ・幅の広い幸橋の下を照らし、夜間・雨天時でも活用できる橋下空間を創出

○河川敷等

- ・河川敷には、河川管理上支障とならない範囲において、埋設型水中仕様の足元照明
- ・左岸桜並木遊歩道等の堤防天端遊歩道には、そぞろ歩きが楽しめる小さなあかり
- ・右岸河川敷ヨリバ周辺広場には、河川のアクティビティを支える大きなあかり
- ・右岸の浜町周辺の堤防天端遊歩道「さくらの小径」には、回遊する楽しさを付与する手すり間接照明
- ・開花時には左岸桜並木をライトアップ。桜並木を通年で楽しめる仕掛けづくりを検討

5 実施主体、整備スケジュール

(県) 九十九橋・幸橋 (県道橋)、右岸の河川敷遊歩道・ヨリバ～幸橋下の河川敷広場
(市) 桜橋・泉橋・木田橋 (市道橋)、左岸の河川敷遊歩道・堤防天端遊歩道、右岸の浜町付近堤防天端遊歩道

- ・令和6年度 照明設備の実施設計、ライトアップ整備（右岸の河川敷遊歩道の一部区間）
- ・令和7年度以降 引き続き、段階的にライトアップ整備を予定

